

金城 ヨシヒデだより



名護市議会議員 金城善英 議会報告



ごあいさつ

令和2年の新たな年を迎えて、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。

人口減少、少子高齢化、全世代型社会保障への対応で、昨年10月に消費税率の2%引き上げとともに酒類や外食を除く飲食料品は「軽減税率」の導入で税率は8%に据え置かされました。民間に委託した全国1万人規模の電話世論調査では約6割が「評価する」との回答がありました。

昨年10月31日未明に沖縄県のシンボルである首里城が焼失し、県内外からのお見舞いと多額の寄付が寄せられております。一日も早い再建を心から祈念いたします。

12月に吉野彰氏がリチウムイオン電池開発の貢献が認められノーベル化学賞を受賞

し、日本中が喜びに包まれています。
皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。

議会報告



金城善英 HP

第197回名護市定例会(12月定例会)は、令和元年12月5日から12月23日までの会期で行われました。名護市一般会計補正予算(第3号)を含む市長提出議案12件、報告1件、同意1件、また、追加議案として市長提出議案2件、議員提出意見書案3件、決議案1件が審議されました。審査の結果につきましては名護市議会ホームページか「なご市議会だより」第125号(3月初め配布)の議案処理結果一覧をご覧ください。

12月定例会一般質問から要旨

ここでは、今定例会でのヨシヒデの一般質問の要旨をご報告いたします。

一、子育て支援について

質問(1)名護市は全国よりも1年1ヶ月先駆けて昨年平成30年9月からゼロ歳～5歳児までの

幼児教育・保育の無償化をスタートしております。多くの喜びの声がある一方で、課題も見え

てきました。そこで、ア、子どもが保育園に入れないとの声を聞いているが、待機児童数とその要因及び対策について

要改善、保育の質の向上について

答弁 令和元年10月1日時点です156人、

三、医療、福祉行政について

質問(1)本市は市独自の支援制度として、名護市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金条例を制定し、高齢者肺炎球菌ワクチン助成事業を実施しております。従来の一部助成から全額助成とし接種率向上に努めていると思いますが、現時点での取り組み状況について

答弁 今後もさらなる接種奨励に努める

質問(2)国立療養所沖縄愛楽園土地等利活用基本計画の進捗と計画に示されている「高齢化が進み入所者が少なくなる中で、一部施設・土地が未利用状況であり、今後も拡大していくと予想されます。(概要版)とあり、空き居住施設の状況と有効利用について

二、環境行政について

質問(1)タイワンハブの脅威が住宅の庭にまで迫っており、生息が確認された地域住民に

とつては、眠れない夜もあり、問題は深刻であります。問題解決への道筋について

ア、大中区内

公園や新博物館用地周辺での捕獲器の設置や捕獲状況と住宅地での脱皮殻の発見がありますが今後の

対策について

イ、咬傷被害状況についてと県警との連携や自衛手段や対処法について

ウ、北部圏域のタイワンハブの生息域状況と対策について

答弁 ア、ハブの寄りつかない環境づくりと最も効果的な捕獲器の設置

イ、県内の被害について

平成27年1件、29年、30年1件づつ

質問(2)「新・放課後子ども総合プラン」に掲げる目標(2019～2023年)に向けて、本市の取り組みについてと放課後児童クラブの待機児童数について

答弁 今後も待機児童解消に取り組む

(一面からつづく)

答弁 国立の施設であり、関係者で計画される

四、名護市青果等市場の施設修繕について

質問 (1) 照明設備がさび、経年劣化が進んでいる状況で、落下の危険性もあり、修繕してほしいとの声がありますが、対応について

答弁 次年度の予算化に努めて実施したい

五、地域における定住環境の整備について

質問 (1) 人口減少、人口流出、高齢化による影響の大きい地域における施策を考えるときに、交流人口も含めた定住環境の整備をするには、都市部との格差を少しでも埋める取り組みを早急に進める必要があります。住宅用地・情報通信・交通アクセスの利便性・電気・水道・燃料・上下水道の整備など定住条件の整備について ア、名護市観光情報インフラ（Wi-Fi通信環境整備事業の取り組みについて ウ、屋我地地域の高速大容量通信が可能な環境を整備することについて

質問 (2) 公共交通が不便な地域における交通弱者の移動の確保を行うデマンド交通等の実証実験の取り組みについて

答弁 2月に久志地区で実証運行を予定

質問 (3) バス停の移設や上屋、椅子の設置については、平成30年第192回9月定例会で取り上げましたが、「引き続き沖縄県バス協会やバス運行事業者へ要請を行つてまいりたい」との考えを示されました

されましたが、その後の取り組みについて ア、琉銀名護支店側名護十字路バス停の名護市産業支援センター前への移設について イ、済井出バス停への上屋と椅子の設置について ウ、稻嶺バス停の北向け国道58号沿いから市道羽194羽地2号への移設について

六、SDGsの取り組みについて

質問 (1) SDGs「持続可能な開発目標」については、平成31年第194回3月定例会でも取り上げましたが、持続可能な開発目標達成に向けた国の動向、沖縄県の動き、そして本市はどのように取り組むのか

答弁 その理念を本市の総合戦略に反映させる

七、公園の管理について

質問 (1) 宇茂佐の森あだね川公園のバスケットボールコートの床面の修繕について

答弁 現在、業者へ見積もりを依頼している

質問 (2) 大中区内公園へのバスケットボールコートの設置について、グラウンドゴルフを行う高齢者の方々とバスケットボールを楽しむ青少年のすみ分けを考える必要性を踏まえた上で設置できなかいか

答弁 今後、公園予定地を整備する際に、地域の要望を踏まえ検討したい

質問 (3) 宮里名座喜原公園への遊具設置について、平成30年第192回9月定例会でも取り上げましたが、新たな補助事業の検討をしていることでした

答弁 地元の意見を伺いながら検討していく

八、道路の安全対策について

質問 (1) 大中区公民館前交差点の市道名護59号線始点の横断歩道の移設について平成28年第1

82回3月定例会でも取り上げましたが、いまだ

移設されておらず滑り止め舗装も劣化し、横断歩道標示も消えております。横断歩道の移設、滑り止め舗装、ひし形標示などの安全対策について

答弁 横断歩道の移設については県警本部と調

答弁 利便性向上のために粘り強く要請していく

整しているが時間を要している。標示や看板等については検討していく。滑り止め舗装については補修で対応する



今議会が初当選以来、
連続登壇70回目の一
般質問となりました。
2019・12・16

やさしく、深く、面白く、役に立つ
政治を毎日わかりやすくお伝えする
公明新聞を読んでみませんか？

日刊(1ヶ月 1,887円/税込)

激しく移り変わる社会・政治の動きを正確
な報道で伝えてまいります。

お申し込みは 金城ヨシヒデ 0980-54-1259